

第二成増幹線工事に関する説明会（令和6年12月19日（木）開催） 質疑応答一覧

項目	No.	質問事項	回答
計画に関する こと	1	第二成増幹線を既設の成増幹線の下に通したほうが効果的ではないか。	<p>第二成増幹線のルートは、既設の成増幹線よりも管径の大きいものを作ることやシールド工法で地中を通していくことを踏まえ、民地との離隔などを考慮し、選定しています。</p> <p>既設の成増幹線と別ルートとなる部分もありますが、このことにより、能力が落ちることや効果が落ちるといったことはありません。</p>
	2	なぜ下赤塚公園を到達立坑としたのか。	既設成増幹線流域内の最上流側において、シールドマシンの到達に必要なまとまった用地かつ公共の用地ということで下赤塚公園を到達立坑として選定しました。
	3	取水マンホールの規模は発進立坑や到達立坑で築造するマンホールと比較してどの程度違うか知りたい。	<p>取水マンホールの規模はシールド機の発進立坑や到達立坑で築造するマンホールよりも小さいものを予定しています。</p> <p>取水施設工事は、第二成増幹線の発進・到達立坑よりも規模の小さい立坑を取水マンホールの設置予定箇所に築造し、今回のシールド機よりも規模の小さい推進機でトンネルを掘っていく方法を考えています。</p> <p>なお、各マンホールとともに同様の蓋を設置予定で、地上からは施設規模の違いは分かりません。</p>
工事に関する こと	4	下赤塚公園の近くに住んでいる。井戸水を生活で使っているのだが、工事の影響で使えなくなるか心配している。 井戸水が止まらないように施工していただきたい。	比較的地下水への影響を抑えられるシールド工法を採用していますが、しっかり施工管理しながら工事を進めていきたいと考えています。
	5	第二成増幹線を整備することで、白子川へ放流するための吐口が増え、地上をゆっくり流れたり地下に浸み込んでいたりした雨水が白子川へ流れることになり、氾濫につながるのではないか。	大雨の時に白子川へ雨水を放流する事になりますが、放流量について計画・設計時に白子川を管理している部署と協議しています。
	6	下赤塚公園の近くに住んでいる。到達立坑による影響範囲（家屋調査対象範囲）を確認したい。	具体的な住所を教えていただければ確認します。
	7	下赤塚公園の砂場や遊具の移設先はどのように決めたのか。	公園管理者の板橋区と協議して決めています。
	8	下赤塚公園のガーデンコンテナは撤去されてしまうのか。	撤去する予定はありません。

第二成増幹線工事に関する説明会（令和6年12月19日（木）開催） 質疑応答一覧

工事に 関すること	9	土砂の搬出はどのようにして行うのか。	発進立坑、到達立坑を掘る際は、それぞれの公園からダンプトラックもしくはコンテナ車での搬出を考えています。 シールド機の掘進中は、発進立坑側の公園からダンプトラックでの搬出を考えています。
	10	シールド工事中、どの程度振動が発生するのか。またシールド機が通っている間に地上が塞がる（通行止めになる）事はないのか。	シールド通過時の振動について、人感では気づかない程度の振動であると考えています。 また、現場で騒音や振動を都度確認しながらシールド工事を進めています。 また、シールド機が通過する際に、地上が通行止めになる事はありません。 振動・騒音に関して何かお気づきの点がございましたら、工事第二課もしくは受注者までご連絡ください。
	11	降雨時、立坑のところで水が逆流しないのか。	工事中、降雨で立坑が水没しないよう、立坑内に排水ポンプを設置して水替えを行う予定です。
その他	12	今日の議事録は、インターネット上に掲載されるのか確認したい。	本日の質疑応答は、ご案内したホームページ上に掲載します。